

令和元年取扱全貨物量の概要

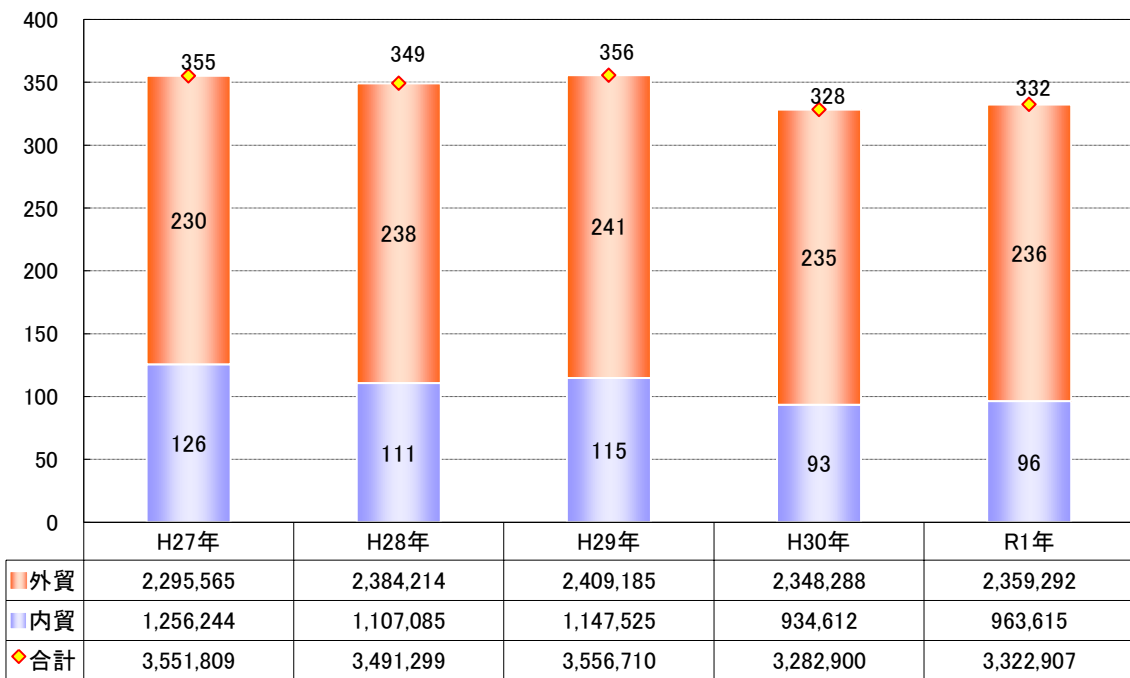
取扱全貨物量については、グラフ1のとおり、外貨貨物が2,359,292トン（前年比+0.5%）、内貨貨物が963,615トン（前年比+3.1%）、合計が3,322,907トン（前年比+1.2%）となった。

上位5品種については、表1のとおり、「窯業品」、「その他日用品」、「薪炭」が増加し、「揮発油及びその他の石油」は減少した。

「石炭」が全体の54.3%を占めており、また、上位5品種で酒田港全貨物量の79.0%を占めている。

グラフ1 過去5年間の全貨物量の推移

（単位：万トン）



（単位：トン）

〈前年比〉
+0.5%
+3.1%
+1.2%

表1 主要品種別の貨物量の推移

（単位：トン）

品 種	H27	H28	H29	H30	R1	割合	前年比 R1/H30
石炭	1,825,000	1,891,624	1,847,433	1,807,082	1,804,036	54.3%	-0.2%
揮発油及び その他の石油	351,067	343,635	382,960	383,075	367,731	11.1%	-4.0%
窯業品	320,017	295,430	283,956	163,140	176,837	5.3%	+8.4%
その他日用品	95,213	113,719	149,251	134,904	144,476	4.4%	+7.1%
薪炭	100	336	448	88,909	130,510	3.9%	+46.8%
その他	960,412	846,555	892,662	705,790	699,317	21.0%	-0.9%
合計	3,551,809	3,491,299	3,556,710	3,282,900	3,322,907	100.0%	+1.2%

※ 「揮発油」及び「その他の石油」は、平成29年までの「石油製品」が、平成30年度から細分化された品種であるが、前年までとの比較のため、本資料では2つの品種を合算して計上した。

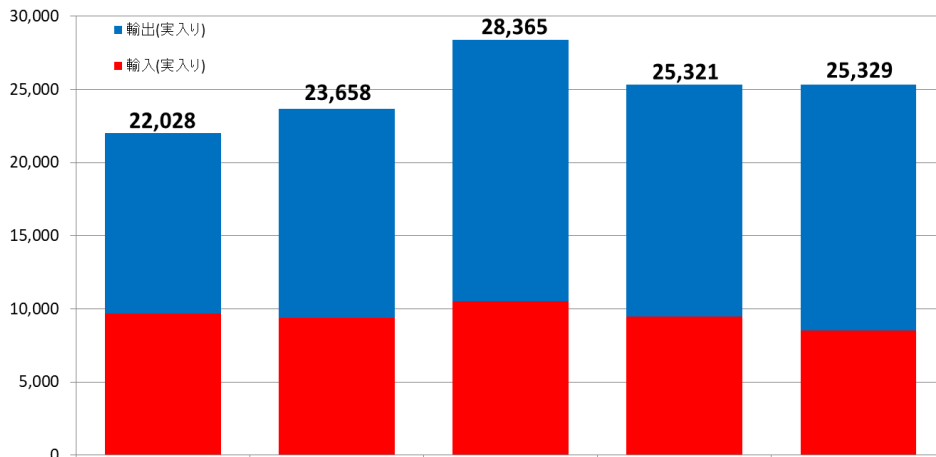
令和元年コンテナ貨物量の概要

コンテナ貨物量（実入りコンテナ）については、グラフ2のとおり、輸出が16,823TEU（前年比+6.2%）、輸入が8,506TEU（前年比-10.2%）、輸出入合計が25,329TEU（前年比+0.03%）となった（コンテナ取扱個数については、下表のとおり）。

品種別では、表2のとおり、輸出では「その他日用品」、「その他製造工業品」、「自動車部品」、「電気機械」が増加し、「再利用資材」が減少した。輸入では「豆類」が増加し、「紙・パルプ」、「製造食品」、「木製品」、「その他繊維工業品」が減少した。

グラフ2 過去5年間のコンテナ貨物量の推移

（単位：TEU）



種別		H27年	H28年	H29年	H30年	R1年	<前年比>
実入りコンテナ	輸出	12,346	14,272	17,853	15,848	16,823	+6.2%
	輸入	9,682	9,386	10,512	9,473	8,506	-10.2%
	合計	22,028	23,658	28,365	25,321	25,329	+0.03%

【参考】

種別		H27年	H28年	H29年	H30年	R1年	<前年比>
空コンテナ	輸移出	4,738	4,391	5,242	4,860	3,458	-28.8%
	輸移入	8,328	8,882	13,028	11,070	12,313	+11.2%
空コンテナ込合計		35,094	36,931	46,635	41,251	41,100	-0.4%

（単位：TEU）

表2 主要品種別のコンテナ貨物量の推移

（単位：TEU）

品 種	輸 出						前年比 R1/H30	品 種	輸 入						前年比 R1/H30
	H27	H28	H29	H30	R1	H27			H28	H29	H30	R1			
その他日用品	9,489	11,349	14,899	13,448	14,400	+7.1%	紙・パルプ	1,248	1,186	1,592	1,310	1,070	-18.3%		
再利用資材	1,563	1,390	1,324	664	554	-16.6%	製造食品	1,161	957	1,235	1,005	968	-3.7%		
その他製造工業品	191	195	251	360	437	+21.4%	木製品	662	941	844	971	909	-6.4%		
自動車部品	198	178	225	264	276	+4.5%	その他繊維工業品	1,968	1,657	1,892	1,465	867	-40.8%		
電気機械	83	163	173	197	234	+18.8%	豆類	292	521	584	572	768	+34.3%		
その他	822	997	981	915	922	+0.8%	その他	4,351	4,124	4,365	4,150	3,924	-5.4%		
合 計	12,346	14,272	17,853	15,848	16,823	+6.2%	合 計	9,682	9,386	10,512	9,473	8,506	-10.2%		

※四捨五入の関係上、内訳項目を合計したものが、合計と一致しない場合がある。

令和元年リサイクル貨物量の概要

リサイクル貨物量については、グラフ3のとおり、合計で431,822トン（前年比+14.9%）であった。

品目別では、表3のとおり、「石炭灰」、「バイオマス燃料」、「廃プラスチック」が増加したが、「金属くず」、「中古品（自動車部品等）」、「古紙」が減少した。

リサイクルポートに指定された平成15年の196,821トンと比較すると約2.2倍となっている。

グラフ3 リサイクル貨物量の推移

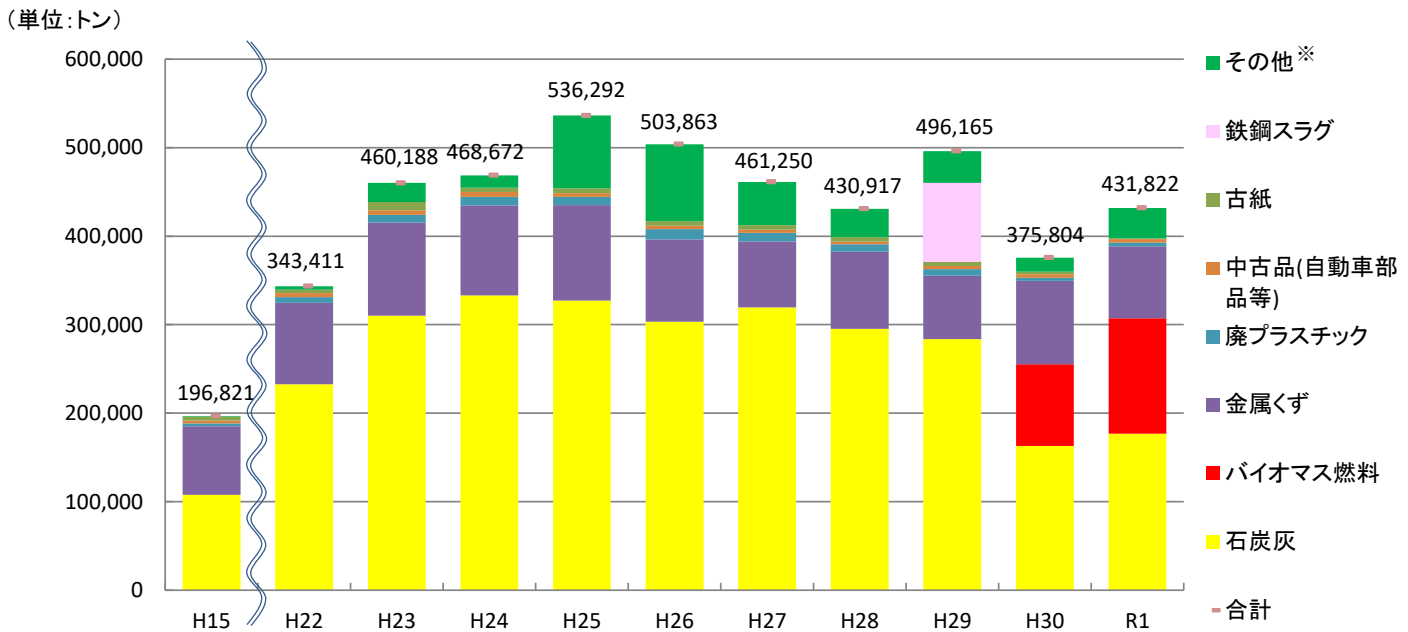


表3 主要品目別のリサイクル貨物量の推移

(単位:トン)

主要品目	H15	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	前年比 R1/H30
石炭灰	107,963	232,583	310,031	333,158	327,295	303,490	319,513	295,305	283,834	163,094	176,811	+8.4%
バイオマス燃料	0	0	0	0	0	0	0	0	0	92,335	130,454	+41.3%
金属くず	77,430	92,110	105,279	101,647	107,852	92,709	74,657	87,188	71,360	93,968	81,283	-13.5%
廃プラスチック	3,260	6,440	8,820	9,520	9,300	11,876	9,658	8,180	7,500	3,720	4,320	+16.1%
中古品(自動車部品等)	2,948	4,558	5,248	5,456	4,166	3,636	3,420	3,142	3,601	3,766	3,626	-3.7%
古紙	4,560	3,960	9,260	4,918	5,620	5,340	5,360	5,200	5,580	2,860	1,220	-57.3%
鉄鋼スラグ	0	0	0	0	0	0	0	0	88,375	0	0	-
その他※	660	3,760	21,550	13,973	82,059	86,812	48,642	31,902	35,915	16,061	34,108	+112.4%
合計	196,821	343,411	460,188	468,672	536,292	503,863	461,250	430,917	496,165	375,804	431,822	+14.9%

※その他：廃土砂、バーク（樹木の皮の部分）など